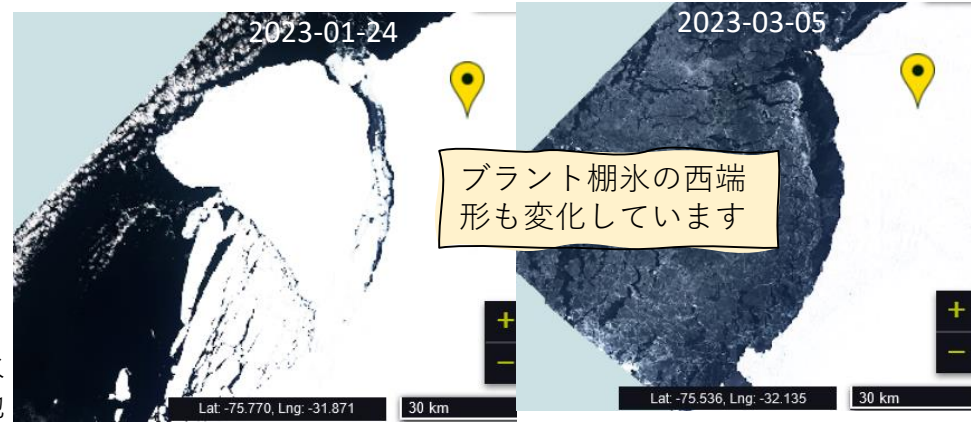


A81 その後

南極観測船「しらせ」は4月10日、昭和基地から母港の横須賀港に帰港し、4月21日にはJMU 鶴見工場造船所に接岸しています。定期整備がはじまっていることでしょう。

南極は冬の季節です。YACかわら版290（2022年9月15日）版でイギリスのハレー基地を取上げる中で、広大なブラント棚氷に関心を持ちました。西オングル島に設けられている昭和基地と異なり、ブラント棚氷上のハレー基地は棚氷が移動することに対応するため移動可能な構造になっていることにおどろきました。ブラント棚氷が西ブラントと分離しかけていることを知りました。1月22日には分離しA-81冰山になったことを、YACかわら版337「新冰山A-81」で紹介しました。

このA-81は、現在どこに移動しているのでしょうか。ハレー基地の位置情報を手掛かりに探ってみましょう。



A-81の位置はアメリカ国立氷センター（U.S. NATIONAL ICE CENTER）のサイトで確認できます。最新位置情報は次の表です。

<https://usicecenter.gov/Products/Antarcticicebergs>

名前	長さ (km)	幅 (km)	緯度	経度	更新日
A81	51	46	-77.59	-36.06	4/28/2023

この地域では3月23日以降のセンチネル2の観測はありません。電波によるセンチネル1の観測のみ継続しています。

2023年1月26日  
YACかわら版 337

